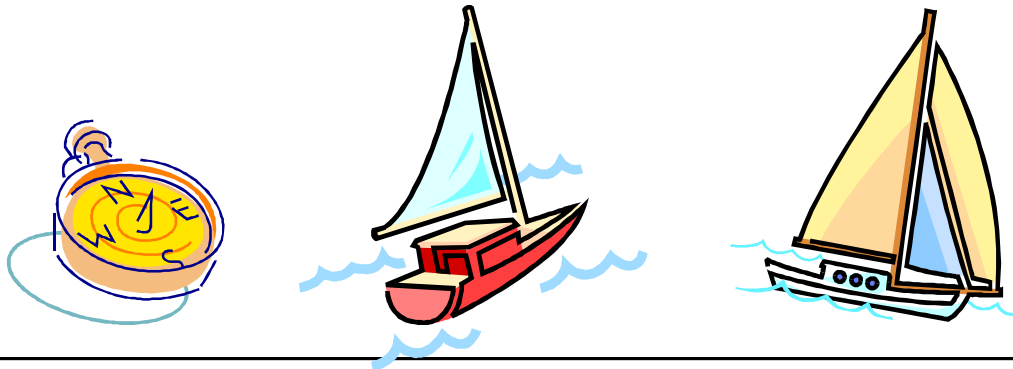


葉山町相談支援ファイル

コ
ン
パ
ス
こん葉す



相談支援ファイル「こん葉⁰す」は、大海原を進む船が進路・方位を知るために使う「コンパス（羅針盤）」から名付けました。ひとりひとりが「コンパス（羅針盤）」を使いながら、自分自身の人生の航路を歩んで行ってほしいという願いが込められています。



問合せ先

葉山町相談支援ファイルに関する問合せは、

葉山町保健福祉部子ども育成課

(046-876-1111 内線 222)

保健福祉部福祉課

(046-876-1111 内線 235、236)

葉山町教育委員会学校教育課

(046-876-1111 内線 7223)

までお願いします。

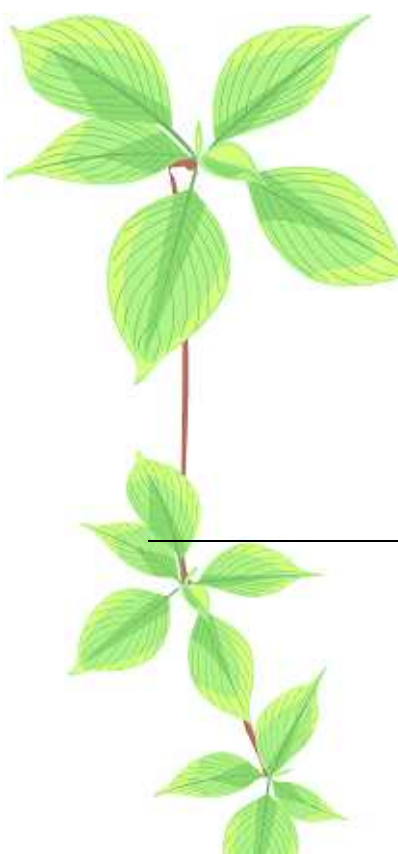
葉山町相談支援ファイル「こん葉す」目次

葉山町相談支援ファイル「こん葉す」について

葉山町相談支援ファイル「こん葉す」の使い方(ライフステージ別)

1	プロフィール・・・・・・・・・・・・・・・・・・()
2	わたしの様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・()
3	わたしが生まれたときからの様子・・・・・・・・・・()
4	わたしの病気、けがなどの受診歴、利用している医療機関 ・・・・・・・・・・()
5	わたしが通っていたところと受けた支援(1)・・()
6	わたしが通っていたところと受けた支援(2)・・()
7	わたしが通っていたところと受けた支援(3)・・()
8	わたしが通っていたところと受けた支援(4)・・()
9	わたしが通っていたところと受けた支援(5)・・()
10	わたしが利用している支援機関・・・・・・・・・・()
11-1	わたしの相談・支援内容(1)・・・・・・・・・・()
11-2	わたしの相談・支援内容(2)・・・・・・・・・・()
12	わたしの検査等の記録・・・・・・・・・・()
13	わたしの手帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・()
14	その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・()
15	発達支援事業マップ
16	参考資料
1-1	支援シート について
1-2	支援シート これまでの支援これからの支援()
1-3	支援シート 支援の内容と役割分担・・・・・・・・()
2-1	就学までの流れについて
2-2	支援学級および特別支援学校へ就学するまでの流れ
3	同意書

適宜、ページの追加修正ができるように頁数は記入していません。必要に応じて記入をお願いします。



葉山町相談支援ファイル「こん葉す」について

からだやこころ、発達や行動など、何らかの面で周囲のサポートが必要なお子さんや成人の方々に対し、周囲の支援者がその状況を理解し、共に支援のあり方について考えていく体制をとっていくことが大切です。

このファイルは、保護者やご本人が所持活用されることで、継続的で一貫性のあるサポートを受けやすくしていくことを目的に配布しています。

「このファイルは何のためにあるの？」

今後のライフステージの様々な場面で、その時々合ったサポートを一貫して受けられるよう、ご本人の情報を一括してまとめておくためのファイルです。必要時、サポートに関わる人達にこのファイルの内容を提示することで、支援する人達がご本人の状況をよりよく理解し一貫性のある支援が行えること、それにより本人が安定した支援を受けられることを目的としています。

「いつから持ち始めたらいいの？」

いつの時期からでも利用できます。「もしかしたらサポートが必要なのかな？」と思われた段階で、いつでも使い始めてみてください。

(先々、特別な相談支援などの必要がなかった場合には「個人の成長記録」として持つていて頂くことができるファイルです。)

「ファイルの中身は誰が書くの？」

基本的には保護者やご本人に記録・保管して頂くものです。記録に関しては内容により、支援機関と相談しながら記入していただくことも可能です。ページが足りない時は、コピーをとるなど、適宜ご自分で用紙を追加してください。

「ファイルの中身は全部書かないといけないの？」

全部書く必要はありません。ご本人や保護者が安心して生活していくために必要だと思われることやできるようになったこと、がんばったことなどを楽しみながら書きましよう。

「何を綴じていったらいいの？」

ご本人に関する様々な情報をまとめて綴じていきます。例えば、幼稚園や保育園・学校での様子の分かるもの(生活票や成績表、保健記録など)、本人の成長が分かる写真、個別支援シートの写し、病院から出された検査結果や診断書の写し、支援機関と作成した相談記録や支援計画などを綴じていきます。

「どんなふうに使ったらいいの？」

ご本人に関する記録をこのファイルにまとめ、必要時、ご本人のサポートを行う人や機関に提示してください。ファイルの記録内容を参考に、ご本人への望ましい支援方法を一緒に考えることができます。また、ファイルに記録しておいた方が良いと思われる次のような場面ではご持参頂き、その場で記録するようにしてください。

例えば・・・

- ・お子さんの心配な点や今後の支援について学校の先生と相談する時
- ・お子さんの進学や進級で支援者が替わる場合に次の支援者に今までのお子さんの様子を伝えたい時(保育園、幼稚園から小学校、小学校から中学校へ進学する時など、お子さんの今までの経過の説明を省略できます。)
- ・学校などで個別支援計画を立ててもらった時
- ・心理発達検査などを受け、検査結果を控えておきたい時
- ・医師の診察を受け、診察での説明内容や診断書の写しなどを記録しておきたい時
- ・相談支援機関との相談内容を記録しておきたい時、など。

「個人情報の管理は大丈夫？」

このファイルに綴じる記録はご本人の大切な個人情報です。ご本人、保護者の方が所持管理するようにしてください。

相談を直接受けた機関のみでなく他機関も含めた支援検討が望ましいと思われる場合には、本人のより良い支援のため、提示して頂いた情報を関係機関が共有するために必要に応じて「同意書」をご提出頂く場合があります。(巻末添付参照)

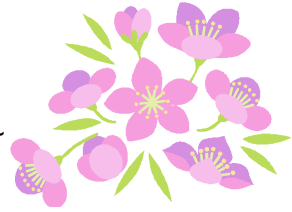
その場合も提示して頂いた情報のみを共有するものであり、ファイル全体の内容が開示されるものではありません。

用紙の取り外しのできるファイルになっていますので、相談の内容により、ファイルに綴じてある情報のうち提示の必要がないと思われる情報に関しては、適宜保護者の方の判断で一部取り外した上、提示して頂くことも可能です。

相談支援ファイルの足りなくなったページは、葉山町ホームページからダウンロードするか、葉山町保健福祉部子ども育成課、福祉課、及び葉山町教育委員会学校教育課のいずれの課でお渡しできます。



支援にあたる各関係機関の皆様へ
～ 保護者の方がこのファイルを持参されたら～



葉山町相談支援ファイル「こん葉す」について

町の発達支援システムの一部として、からだやこころ、発達や行動など、何らかの面で周囲のサポートが必要なお子さんや成人の方々が、各関係機関と情報を共有し、ライフステージの様々な場面で、適切な相談や支援を受けられるようご活用いただくファイルです。
このファイルはいつの時期からでも利用できます。

ご本人や保護者の方と各関係機関と一緒に相談支援ファイルを綴っていくことで、情報が共有され、支援が円滑に進められることが期待されます。ご本人の幼児期、学齢期、成人期の情報をつなぎ、医療、保健、福祉、教育、労働等の各機関が連携しながら、一貫性・継続性のある支援を行えるようにするための情報源として活用できるファイルとなりますので、ご協力ください。

ファイルの情報保管や記録への支援をお願いします

本人の成長発達等に関し、残しておいた方が良い情報があれば、ご本人や保護者の方にご説明の上、このファイルに綴じるようご説明ください。
(相談内容の記録、支援シートや個別の支援計画の写し、診断書のコピー、医療情報、薬剤管理情報書の写し、発達検査所見、等)

支援シート や 、個別の支援計画を作成するための支援をお願いします

支援シートの や の作成や、個別の支援計画の作成に関して、ご本人や保護者の方から依頼があった場合にはご協力ください。
(支援シートとは、16参考資料 1-1、1-2、1-3 参照)

ファイルの情報を支援に活用すること

相談があった場合には、保護者やご本人から提示された情報を、今後のご本人や保護者の支援のためにご活用ください。

ご本人の支援方法の検討等のために、個人情報に十分配慮した上での対応が必要となりますので、他機関と情報の共有をする必要がある場合には、保護者かご本人に、情報提供に関する「同意書」(巻末添付)を提出して頂き、葉山町の担当課(福祉課・子ども育成課・学校教育課)にご相談ください。



葉山町相談支援ファイル「こん葉す」の使い方（ライフステージ別）

全部書く必要はありませんので、ご本人や保護者が安心して生活していくため必要だと思われることを書きましょう。

何かの相談の折にファイルを使うと、関係機関とご本人の情報が共有しやすくなり、より良い支援を考えることができるようになります。

就学前のお子さんのご家族へ

妊娠・出産時の状況や、乳幼児期の発達経過、気になっていたこと、既往歴などについて記録しておきましょう。後からお子さんの支援のために大変役に立つ情報になります。

幼稚園・保育園の先生との面談時などにファイルを持参しお子さんへの対応方法を一緒に考えてもらうようにしましょう。また内容を記録しておくようにしましょう。心理発達相談員や言語聴覚士などの専門職と面接する場合には、ファイルを持参し、相談したことや、助言内容を記録しておくようにしましょう。

町の療育機関の「たんぽぽ教室」で支援を受ける場合は、参加したときの様子などを記録しておくようにしましょう。また、教室での「個別支援計画」の写しなどを綴じるようにしましょう。

「たんぽぽ教室」で医師による医療相談を受けた場合には、医師からの診察結果や、助言内容を記録しておくようにしましょう。

民間の療育機関の「児童発達支援」などを利用された場合には、参加した時の様子などを記録しておくようにしましょう。

医療機関を受診する時にはなるべく持参しましょう。特に児童精神科を受診される時は、医師からの診察結果や助言内容などを記録しておくようにしましょう。「診断書」などがある場合には写しを綴じておくようにしましょう。

小学校入学前に、学校教育課で「教育相談」を受ける場合には、ファイルを使ってそれまでのお子さんの様子を伝え、就学後にどのような支援があったらよいかを検討する上で有効です。

入学を予定している小学校にファイルを使ってお子さんの状況を伝え、ご家庭と学校の先生との間で必要な情報を共有することができ、今後のお子さんの学校生活の支援に活用することができます。

小学校の「特別支援学級」や「特別支援学校」への進学や「ことば・きこえの教室」への通級支援を検討され、学校教育課で「就学相談」を受ける場合には、ファイルを使ってそれまでの様子を伝え、お子さんにとっての望ましい学習環境を検討する上で大変有効です。

児童相談所で発達に関する相談をした時や、療育手帳の判定などを受けた時には、記録しておくようにしましょう。

小学生のお子さんのご家族へ

小学校での様子や、本人の得意なこと、苦手なこと、その時に好きだったこと、熱中していること、友達との関係など、お子さんの成長の過程を記録するようにしましょう。

保健記録や成績表なども綴じておくことで今後の支援の参考になります。

学校の先生などに相談される時にファイルを提示すると、過去の様子も伝えやすく、今後の支援が検討しやすくなります。

学校の「個別の教育支援計画」などの写しがある場合には、ファイルに綴じるようにしましょう。

進級時などには、次の担任教諭にファイルを使ってお子さんの今までの経過を伝えることでお子さんへの支援のポイントが明確になり、継続的な支援をスムーズに受けることができます。

中学進学時には、入学を予定している中学校にファイルを使ってお子さんの状況を伝え、ご家庭と学校の先生との間で必要な情報を共有することができ、進学後のお子さんの支援に活用することができます。

医療機関（児童精神科など）を受診される時にはなるべく持参し、今までのお子さんの経過をファイルの情報を使って説明するようにすると、明確に伝えることができます。また医師からの診察結果や助言内容などを記録するようにしましょう。「診断書」などがある場合には写しを綴じておくようにしましょう。

児童相談所などで発達に関する相談をした時や、療育手帳の判定を受けた時には、記録しておくようにしましょう。

民間の療育機関の「放課後等デイサービス」などを利用された場合には、参加した時の様子などを記録しておくようにしましょう。

「特別支援学級」、「特別支援学校」や「ことば・きこえの教室」での通級支援を受ける時にも、ファイルを使ってお子さんの状況を伝えるようにしましょう。また教室に参加した時の様子や、教室での助言内容を記録するようにしましょう。

不登校などの支援のためのフリースクールなどを利用される時は、ファイルを使ってご本人の状況を伝えるようにしましょう。またスクールに参加した時の様子や、スクールでの助言内容を記録するようにしましょう。



中学生の方とご家族へ

中学校での様子や、得意なこと、苦手なこと、その時に好きだったこと、熱中していること、友達との関係、部活動での様子など、生活の様子を記録するようにしましょう。

保健記録や成績表なども綴じておくこと今後の支援の参考になります。

学校の先生などに相談される時にファイルを提示すると、過去の様子も伝えやすく、今後の支援が検討しやすくなります。

学校の「個別の教育支援計画」などの写しがある場合には、ファイルに綴じるようにしましょう。

進級時などには、次の担任教諭にファイルを使って今までの経過を伝えることで、ご本人への支援のポイントが明確になり、継続的な支援をスムーズに受けやすくなります。

高等学校などへの進学時には、入学を予定している高校などにファイルを使って状況を伝えると、ご家庭と学校の先生との間で必要な情報を共有することができ、進学後のご本人の支援に活用することができます。

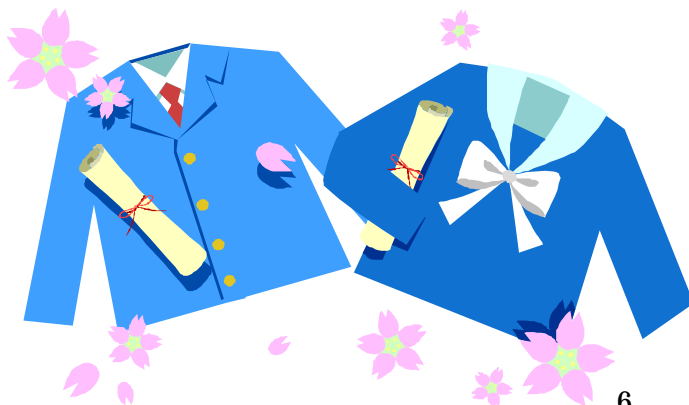
医療機関（児童精神科など）を受診される時にはなるべく持参し、今までのご本人の経過をファイルの情報を使って説明するようにすると、明確に伝えられます。また医師からの助言内容も記録するようにしましょう。「診断書」などがある場合には写しを綴じておくようにしましょう。

児童相談所などで発達に関する相談をした時や、療育手帳の判定を受けた時には、記録しておくようにしましょう。

民間の療育機関の「放課後等デイサービス」などを利用された場合には、参加した時の様子などを記録しておくようにしましょう。

就労する場合には、ファイルを使いながら相談すると、望ましい就労環境の検討が行いやすくなります。

不登校などの支援のためのフリースクールなどを利用される時は、ファイルを使ってご本人の状況を伝えるようにしましょう。またスクールに参加した時の様子や、スクールでの助言内容を記録しておくようにしましょう。



高校生の方とご家族へ

高校での様子や、得意なこと、苦手なこと、その時に好きだったこと、熱中していること、友達との関係、部活動での様子など、生活の様子を記録するようにしましょう。

保健記録や成績表なども綴じておくと今後の支援の参考になります。

学校の先生などに相談される時にファイルを提示すると、過去の様子も伝えやすく、今後の支援が検討しやすくなります。

学校の個別の支援計画などの写しがある場合には、ファイルに綴じるようにしましょう。

進級時などには、次の担任教諭にファイルを使って今までの経過を伝えることで、ご本人への支援のポイントが明確になり、継続的な支援をスムーズに受けやすくなります。

医療機関（精神科など）を受診される時にはなるべく持参し、今までのご本人の経過をファイルの情報を使って説明するようにすると、明確に伝えられます。また医師からの助言内容も記録するようにしましょう。

医療機関（精神科など）からの、「意見書」や「診断書」などがある場合には写しを綴じておくようにしましょう。

児童相談所などで発達に関する相談をした時や、療育手帳の判定を受けた時には、記録しておくようにしましょう。

民間の療育機関の「放課後等デイサービス」などを利用された場合には、参加した時の様子などを記録しておくようにしましょう。

不登校などの支援のためのフリースクールなどを利用される時は、ファイルを使ってご本人の状況を伝えるようにしましょう。またスクールに参加した時の様子や、スクールでの助言内容を記録するようにしましょう。

相談支援事業所に相談をする時に、ファイルを使って相談すると、今までの経過も含めて過去の様子も伝えやすくなり、今後の支援検討が行いやすくなります。

就労する場合には、ファイルを使いながら相談すると、望ましい就労環境の検討が行いやすくなります。



大学生・社会人等の方とそのご家族へ

学生の方は「学生相談室」などで学生生活全般のご相談をされる時などにファイルを使って頂くと、困っていることの要因が伝わりやすくなり、サポートのあり方を一緒に考えやすくなります。

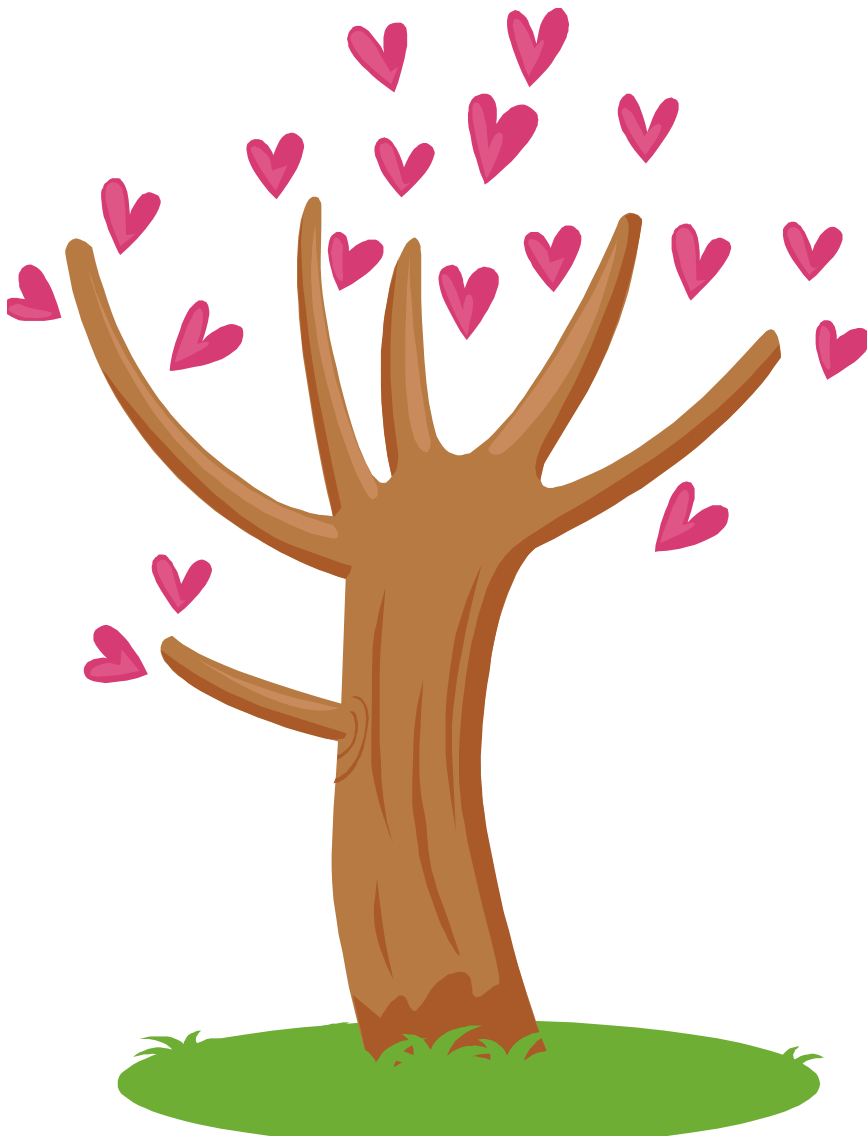
就職先を探す時にも、ファイルを使いながら相談すると、望ましい就労環境の検討が行いやすくなります。

相談支援事業所に相談をする時に、ファイルを使って相談すると、今までの経過も含めて過去の様子も伝えやすくなり、今後の支援検討が行いやすくなります。

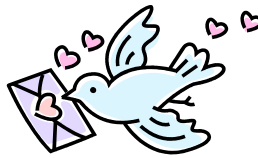
既に就労している社会人の方は、健康管理室などで相談される時に相談内容や結果を記入しておかれると、就労環境の調整に活用できます。

医療機関（精神科など）を受診された時には、医師からの診察結果や助言内容も記録するようにしましょう。

会社の産業医などに相談する時にも、ファイルを使いながら相談すると、就労環境の調整などに活用できる場合があります。

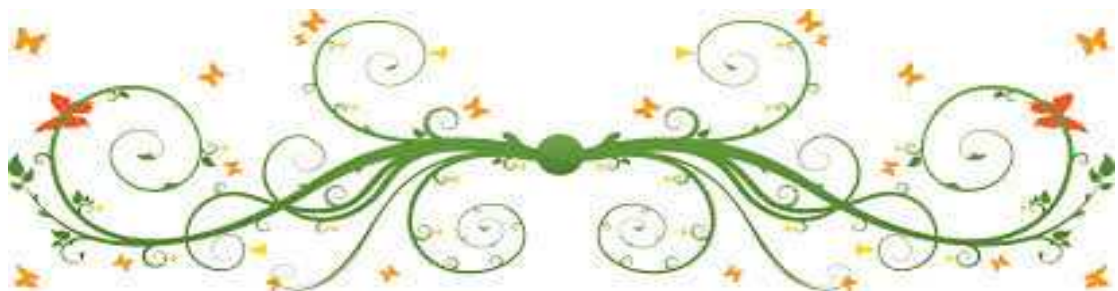


1 プロフィール



記入年月日 _____ 年 ____ 月 ____ 日

ふりがな			男女	年 月 日生		
氏名 (愛称)	()					
住所	〒 -		連絡先	() -		
保護者 の方の 氏名	父の 氏名			生年月日	年 月 日生	
	母の 氏名			生年月日	年 月 日生	
家族の 方の状況	続柄	ふりがな 氏名	生年月日	続柄	ふりがな 氏名	生年月日
			年 月 日生			年 月 日生
			年 月 日生			年 月 日生
			年 月 日生			年 月 日生
			年 月 日生			年 月 日生
			年 月 日生			年 月 日生
緊急連絡先 1	氏名(続柄)	ふりがな 氏名 ()				
	連絡先	自宅	()	-		
		携帯	()	-		
		職場	()	-		
緊急連絡先 2	氏名(続柄)	ふりがな 氏名 ()				
	連絡先	自宅	()	-		
		携帯	()	-		
		職場	()	-		



2 わたしの様子

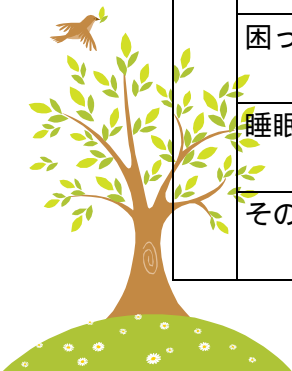


記入年月日 年 月 日

わたしの好きな遊び・活動	屋内	
	屋外	
好きなこと	興味のあるもの、はまっていること、こだわっていること	
	嫌いなもの、嫌いなこと	
嫌いなこと	好きな食べ物や飲み物	
	嫌いな食べ物や飲み物	

人や物との関わり	したり、されたりすると喜ぶこと	
	されるのを嫌がること	
	苦手な場所や音、遊び、活動など	
	コミュニケーションの取り方	言葉で伝えられる(単語・二語文・) 独自の方法で伝えられる (身振り・絵カード・写真・)
	必要なサポート	

生活上の配慮	食事 (食物アレルギーなど)	
	トイレ	
	着替え	
	清潔	
	パニックになったときの対応	
	困っていること	
	睡眠	
	その他	

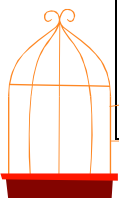


3 わたしが生まれたときからの様子



記入年月日 年 月 日

妊娠時状況		所見なし 所見あり ・妊娠高血圧症候群 (妊娠 週頃) ・切迫流産 (妊娠 週頃) ・切迫早産 (妊娠 週頃) ・その他 () 内服薬 ・なし ・あり ()				
出産時の状況	父 母 年 齢	父 歳 ・ 母 歳 ・ 第 子				
	分 娩	正常分娩 帝王切開 吸引分娩 微弱陣痛 その他 ()				
	在 胎 期 間	週	出生時体重 g			
	出生時の状況	頭 位	骨 盤 位	そ の 他 ()		
新生児期の状況	胎児仮死	な し あ り (分)				
	哺 乳 力	普 通 そ の 他 ()				
	栄 養	母 乳 混 合 ミルク				
	保育器の使用	な し あ り (日間)				
	黄 疸	な し あ り (光線療法 時間)				
	その他 特別な処置	な し あ り (内容)				
乳幼児期の発達経過	首のすわり	か月頃	寝返り	か月頃	おすわり	か月頃
	人見知り	・ か月頃 ・ なかった	はいはい	か月頃	つかまり立ち	か月頃
	つたい歩き	か月頃	歩き始め	歳 か月頃	ことばの出始め	歳 か月頃
	指差し	歳 か月頃	2 語文を話す	歳 か月頃	3 語文を話す	歳 か月頃
	友達遊び	よくできた あまりできなかった				
	けいれん	な し あ り (熱性けいれん・無熱性けいれん) 歳 か月頃 ~ 歳 か月頃 回				
	そ の 他					

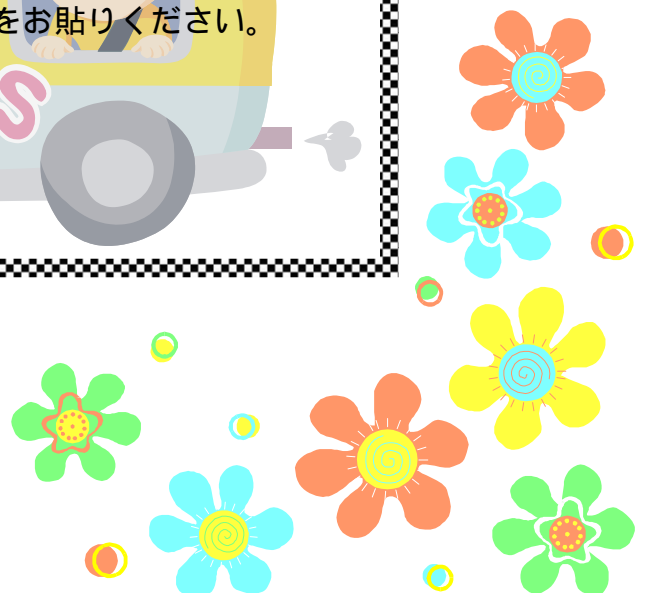


5 わたしが通っていたところと受けた支援(1)



保育所・幼稚園

保育所・幼稚園名(組)	期 間	担任名	受けた支援
(例) ____幼稚園 (____組)	____年____月____日 ~ ____年____月____日	_____	指導員加配等
	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年 月 日 ~ 年 月 日		

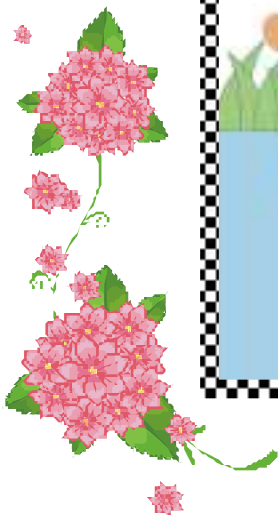


6 わたしが通っていたところと受けた支援（2）



小学校

学校名	学年	期 間	担任名	受けた支援
(例) _____小学校	○年	____年__月__日 ~ ____年__月__日	_____	_____支援級在籍等
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		



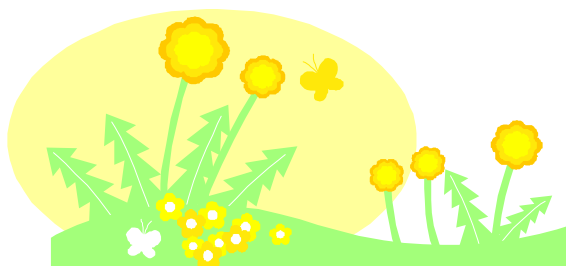
小学校の頃の写真をお貼りください。

7 わたしが通っていたところと受けた支援(3)



中学校

学校名	学年	期 間	担任名	受けた支援
(例) ____中学校	○年	____年__月__日 ~ ____年__月__日	_____	____支援級在籍等
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		



8 わたしが通っていたところと受けた支援（4）



高等学校等

学校名	学年	期 間	担任名	受けた支援
(例) ____高等学校	○年	____年__月__日 ~ ____年__月__日	_____	(サポート校在籍等)
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		
	年	年 月 日 ~ 年 月 日		



9 わたしが通っていたところと受けた支援（5）



学校卒業後の勤め先

会社名	期 間	勤務日	勤務時間	仕事内容
(例) 株	___年___月___日 ~ ___年___月___日	月・火・水 木・金・土・日	___ : ___ ~ ___ : ___ (計 時間)	自動車整備 の仕事、等
	年 月 日 ~ 年 月 日	月・火・水 木・金・土・日	: ~ : (計 時間)	
	年 月 日 ~ 年 月 日	月・火・水 木・金・土・日	: ~ : (計 時間)	
	年 月 日 ~ 年 月 日	月・火・水 木・金・土・日	: ~ : (計 時間)	
	年 月 日 ~ 年 月 日	月・火・水 木・金・土・日	: ~ : (計 時間)	
	年 月 日 ~ 年 月 日	月・火・水 木・金・土・日	: ~ : (計 時間)	
	年 月 日 ~ 年 月 日	月・火・水 木・金・土・日	: ~ : (計 時間)	
	年 月 日 ~ 年 月 日	月・火・水 木・金・土・日	: ~ : (計 時間)	



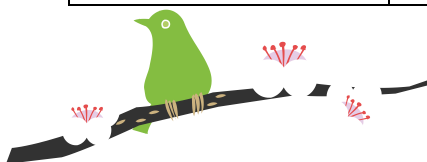
学校卒業後の勤め先の頃の写真をお貼りください。





10 わたしが利用している支援機関

サービスの種類	事業所名	利用開始年月	備考 (支給量、利用量等)
(例) <u>児童発達支援</u> _____	_____事業所	____年 __月__日 ~ ____年__月__日	<u>月12日、等</u>
		年 月 日 ~ 年 月 日	
		年 月 日 ~ 年 月 日	
		年 月 日 ~ 年 月 日	
		年 月 日 ~ 年 月 日	
		年 月 日 ~ 年 月 日	
		年 月 日 ~ 年 月 日	
		年 月 日 ~ 年 月 日	
		年 月 日 ~ 年 月 日	
		年 月 日 ~ 年 月 日	
		年 月 日 ~ 年 月 日	
		年 月 日 ~ 年 月 日	

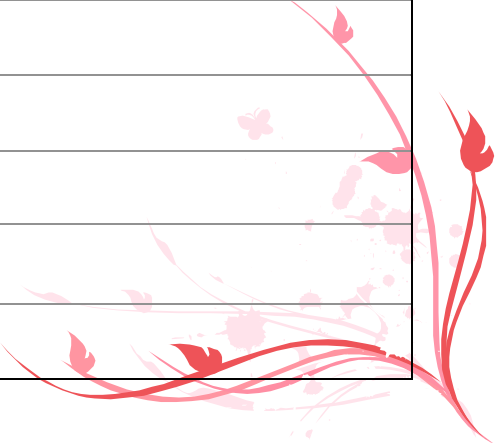




11 - 1 わたしの相談・支援内容（1）

学校や医療機関、児童相談所、相談支援事業所などの関係機関に相談をする時に、相談内容について記録し、ご本人への今後の支援の方向性や、具体的な対応の方法等について、関係機関と一緒に考えてもらいましょう。またそこで得られたアドバイス等を記入しておくようにしましょう。

相談日： 年 月 日（ ）	
相談先機関名：	
担当者名：	
相談先機関からの資料提供の有無：なし・あり（内容 ）	
相談内容について	
今後の支援の方向性・具体的な対応方法等について	

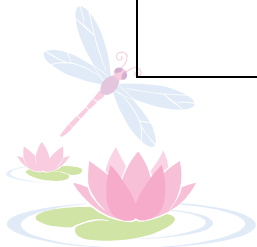




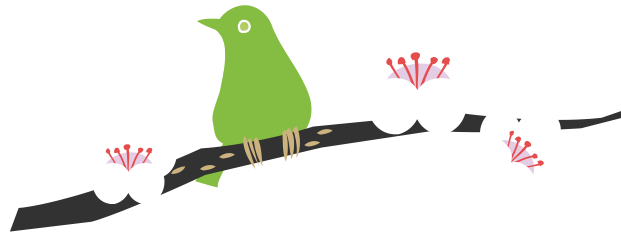
12 わたしの検査等の記録

療育施設や医療機関、児童相談所等で検査等を受けた時には、検査結果の説明時にファイルを持参し、結果について記入しておくようにしましょう。

実施日	年齢	検査機関・実施者	検査の種類と結果
(例) __年 __月__日	__歳__か月	__診療所__等	田中ビネー発達検査にて IQ __等

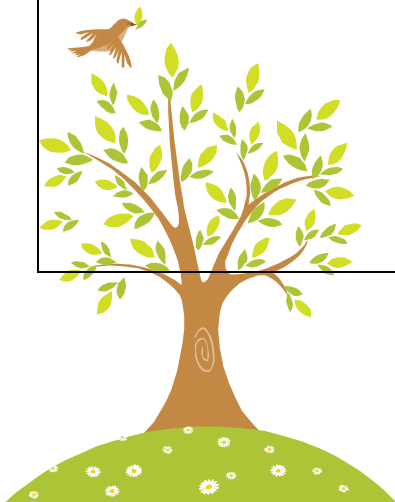


13 わたしの手帳

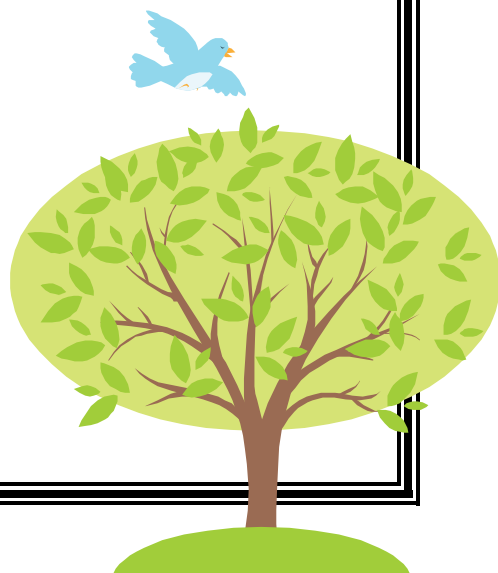
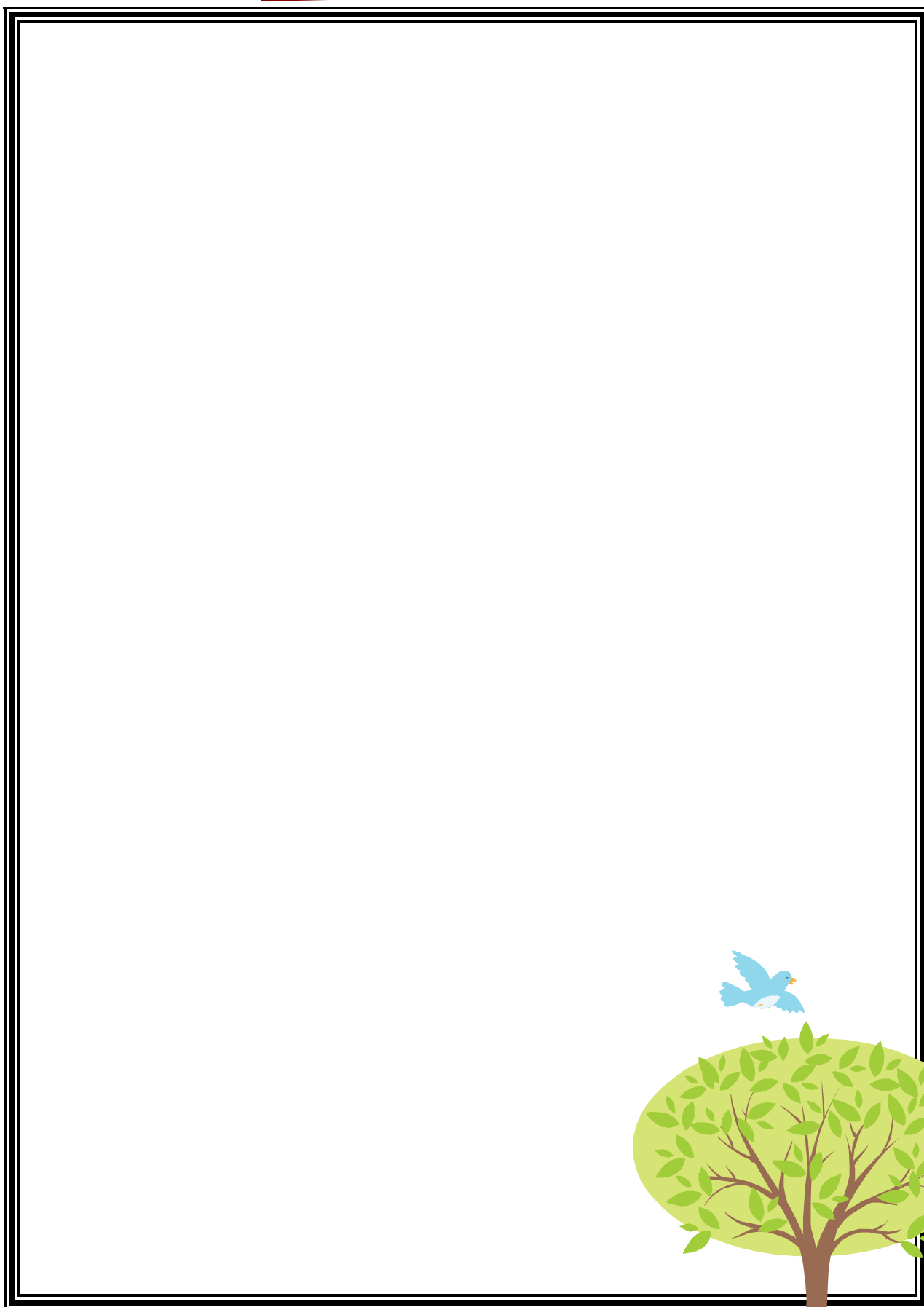
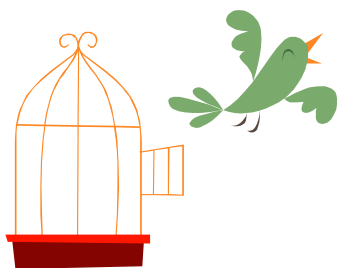


手帳の取得状況	手帳取得済み ・ 手帳未取得 (手帳を取得されている方は下の表に 手帳の種類などを記入しましょう。)
---------	--

手帳の種類	等級	障害名等	取得年月日・ 等級変更年月日
身体障害者手帳			取得 年 月 日 年 月 日
			変更 年 月 日 年 月 日
			変更 年 月 日 年 月 日
療育手帳		/	取得 年 月 日 年 月 日
		/	更新時期 年 月 日
		/	更新時期 年 月 日
精神障害者保健福祉手帳		/	取得 年 月 日 年 月 日
		/	更新時期 年 月 日
		/	更新時期 年 月 日



14 その他



連絡先一覧表

	事業名	連絡先	電話番号
妊娠したら	母子健康手帳交付 妊婦訪問・教室・相談等	子ども育成課	046-876-1111 (内線)224・225
赤ちゃんが生まれたら	赤ちゃん訪問 乳幼児健康診査 各種育児教室・相談等	子ども育成課	046-876-1111 (内線)224・225
親子の遊び場	子育て支援センター 児童館・青少年会館	子育て支援センター「ぼけっと」	046-876-4152
		木古庭児童館	046-878-8250
		上山口児童館	046-878-8052
		下山口児童館	046-876-0991
		芝崎児童館	046-875-6910
		元町児童館	046-875-3969
		葉桜児童館	046-875-6273
		青少年会館	046-875-4980
子どもを預けたい	保育園	葉山保育園	046-875-6246
		葉山にこここ保育園	046-875-2324
		風の子保育園	046-876-2118
		おひさま保育室	046-876-3277
		一時預かり	子育て支援センター「ぼけっと」
相互支援活動	ファミリーサポートセンター	046-876-4119	
幼稚園に通わせたい	幼稚園	あおぞら幼稚園	046-878-8725
		あけの星幼稚園	046-875-2762
		どれみ幼稚園	046-875-3330
		明照幼稚園	046-875-1426
		御国幼稚園	046-852-6633
小学校入学前の健康診断	就学時健康診断	学校教育課	046-876-1111 (内線)7223
小学校・中学校(支援学級)	小学校	葉山小学校	046-875-0062
		上山口小学校	046-878-7529
		長柄小学校	046-875-6860
		一色小学校	046-875-9221
	中学校	葉山中学校	046-875-1346
		南郷中学校	046-875-9494
特別支援学校	小学部・中学部・高等部	神奈川県立武山養護学校	046-856-5800
		神奈川県立鎌倉養護学校	0467-45-1482
	高等部	神奈川県立岩戸養護学校	046-839-4500
	幼稚部・小学部・中学部・高等部	神奈川県立平塚ろう学校	0463-32-0129
	幼稚部・小学部・中学部・高等部	横須賀市立ろう学校	046-834-1172
放課後の子どもの居場所	学童クラブ	葉山学童クラブ	046-875-4980
		上山口学童クラブ	046-878-8052
		下山口学童クラブ	046-876-0991
		葉桜学童クラブ	046-875-6273
		木古庭児童館	046-878-8250
	児童館・青少年会館	上山口児童館	046-878-8052
		下山口児童館	046-876-0991
		芝崎児童館	046-875-6910
		元町児童館	046-875-3969
		葉桜児童館	046-875-6273
青少年会館	046-875-4980		
子どものことで悩んだら	相談窓口	子ども育成課	046-876-1111(内線)225
		学校教育課	046-876-1111 (内線)7223
		教育研究所	046-875-7295
		鎌倉三浦地域児童相談所	046-828-7050
		神奈川県発達障害支援センター	0465-81-3717
	教育相談	学校教育課	046-876-1111 (内線)7223
就学相談	学校教育課	046-876-1111 (内線)7223	
子どもの訓練・支援を行う場所	たんぼぼ教室	子ども育成課	046-876-1111(内線)225
	ことば・きこえの教室	学校教育課	046-876-1111 (内線)7223
働くことに悩んだら	指定特定相談支援事業者	支援センター 屈	046-870-5280
		葉山町こころの相談室ポート	046-876-0121
		地域生活サポートセンターとらいむ	0467-61-3205
	就労相談	福祉課	046-870-1111(内線)256

15 葉山町発達支援事業マップ

体や心、認知発達や行動等、何らかの面で周囲の人のサポートが必要なお子さんや成人の方々には、ご本人の成長や生活を支える支援体制があることがとても大切です。大海原を進むヨットのように、あちこちに寄港しながら自分自身の進路を探り、ライフステージの各段階での相談等をきっかけに、良い支援者との出会いや仲間づくりを楽しんでください。どこに相談をすればいいのかを一覧にしました。詳しいことは、一覧表の連絡先までお問い合わせください。

相談窓口

相談内容によって、子ども育成課、学校教育課、福祉課のいずれかの部署をご案内します。

乳幼児健康 診査

・歯科健診

4か月、10か月、1歳6か月、3歳を迎えるころに健診を実施します1歳6か月、2歳、3歳で歯科健診を実施します。

乳幼児健康 相談・各種 育児相談

未就学年齢のお子さんの健康面や、発達に関するご相談に応じています。

赤ちゃん 訪問・乳幼児 家庭訪問

生後4か月までの全ての赤ちゃんと、その他ご相談のあるお子さんのご家庭に保健師等が訪問します。

妊婦健康相談・家庭訪問

妊娠中の健康管理や出産準備などの相談に応じます。

両親教室・育児教室

両親教室では妊娠中の健康管理や出産・育児について学び、すこやか児教室・2歳児教室では子どもの発達に即した関わり方について学びながら、子育て仲間をつくります。

就学相談

発達状況や特性等に応じた特別支援教育等が行えるよう相談を行います。

教育相談

学校でどのような支援が必要かなどの相談を行います。

たんぽぽ教室

発達につまづきのある未就学児に対し、療育支援を行っています。

就学時健康 診査

町立小学校へ入学予定の年長児を対象に健康診断を行います。

鎌倉三浦地域 児童相談所

養育相談や療育手帳判定等の相談に応じます。

幼稚園・保育園

町内には5つの私立幼稚園と、認可保育園、認可外保育園が2つずつあります。

巡回相談

幼稚園保育園等に臨床心理士や言語聴覚士等の専門職が訪問し、お子さんの相談に応じます。

子育て支援 センター

「ぼけっと」

未就学児の親子が自由に遊んだり相談できる施設です。お子さんの一時預かりも実施しています。

児童発達支援・放課 後等デイサービス

民間事業所で療育などを行っています。

ファミリーサポートセンター

依頼会員になると支援会員が子どもの一時預かりなどの支援をします。

ことば・きこえの教室

小学生のコミュニケーション支援を行う通級教室です。

特別支援学校

近隣の市に公立の学校があります。

小学校

(通常学級・特別支援学級)
町内には4校の小学校があり、各校に支援が必要な子どものための特別支援学級があります。

中学校

(通常学級・特別支援学級)
町内には2校の中学校があり、各校に支援が必要な子どものための特別支援学級があります。

児童館・青少年会館

町内には6つの児童館と1つの青少年会館があります。子どもがいつでも誰でも利用できる遊び場です。

学童クラブ

町内には4つの学童クラブがあり、留守家庭児童の受け入れの場として利用できます。

日中活動・ 就労支援

一般就労が困難な方に生活訓練・作業訓練・就労支援などを行います。

計画相談支援

課題を解決し、より良い生活を実現するために、適切な福祉サービスの利用について相談に応じます。

教育研究所

中学生までのお子さんを対象とした教育相談や教育指導・講座等を行っています。

発達障害支援センター KANAC(かなっく)

発達障害等のある方に対する支援を行います。

神奈川県発達障害支援 センター(かながわA)

発達障害のある方に対する支援を総合的に行う機関です。





1 6 参考資料

- 1 - 1 支援シート ・ について
- 1 - 2 支援シート これまでの支援これからの支援
- 1 - 3 支援シート 支援の内容と役割分担

- 2 - 1 就学までの流れについて
- 2 - 2 支援学級および特別支援学校へ就学するまでの流れ

- 3 同意書

支援シート ・ について

「支援シート ってなに？」

支援シート は「縦へのつなぎ」のために使います。

幼稚園から小学校へ上がる時、小学校から幼稚園へ上がる時など、ご本人の所属が変わる時に、ご本人への支援が途切れることなく行えるよう、「個別支援計画」()を作成し、支援を引き継いでいくための書式です。

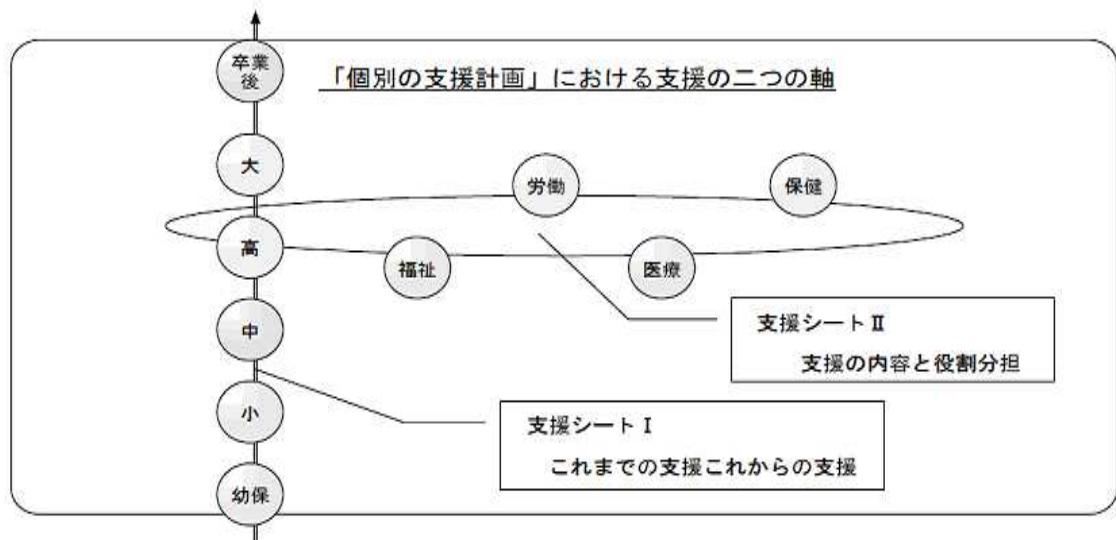
所属機関とご本人や保護者の方が一緒に作成します。

()個別支援計画とは・・・ご本人の支援のための計画です。成長の経過により定期的に計画を見直していくことが必要なものです。

「支援シート ってなに？」

支援シート は「横へのつなぎ」のために使います。

ご本人の「今」を支えるために保健・医療・福祉・教育・労働が、ご本人にどのようなサポートをするべきか、それぞれの機関の役割分担を明確にするために使うものです。



(参考)

支援シート は神奈川県が作成したものです。詳細は次の URL でご覧になれます。

神奈川県教育委員会教育局特別支援教育課ホームページ

「神奈川の支援教育関連資料」

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/40/4028/sien/index.html>

支援シート これまでの支援これからの支援

(参考資料 1 - 2)

所属機関が変更になる場合に記入をしてください。

記入年月日 年 月 日

ふりがな 氏 名	所 属 機 関	記入日	相談メンバー
	↓		

*記入者には 印をつける

	項 目	内 容
これまでの取組	所 属 機 関	
	家 庭 生 活	
	余暇・地域生活	
	健康・安全・相談	

これまでの取組の詳備		
------------	--	--

これからの計画	これからの方針	
	所 属 機 関	
	家 庭 生 活	
	余暇・地域生活 卒業後の生活	
	健康・安全・相談	



支援シート 支援の内容と役割分担

(参考資料1 - 3)

複数の機関が支援しているときに記入をしてください。

記入年月日 年 月 日

ふりがな 氏名		所属機関	(学年)
記入日		相談ノパ -	
見直し日		相談ノパ -	

*記入者には 印をつける

課 題 または ニーズ	
-------------------	--

項目	機 関	担当者	支援の内容	見直し 予定日	見直し 評 価
所属機関					
家庭生活					
余暇・ 地域生活					
健康・ 安全・ 相談					



就学までの流れについて

教育相談について

学校に入学後の在籍を、通常学級に置くか特別支援学級に置くかということや、お子さんにとってどのような支援が必要かということなどを相談し、在籍学級を決めていきます。あらかじめお電話をいただき、相談日を決めさせていただきます。

学校教育課 TEL 046 - 876 - 1111 (内線 7223)

就学支援委員会について

教育相談の結果、特別支援学級をご希望される場合は、お子さんに係る資料を関係機関からいただき、「葉山町就学支援委員会」という会議で検討させていただきます。この会議には、各小・中学校長、担当教諭、医師、児童相談所、養護学校、保健師等、各関係機関の職員が委員となり、保護者のご希望をふまえたうえで、より専門的な見地からお子さんに適した教育の場を検討し、在籍について決定させていただきます。

就学希望等の決定時期について

就学支援委員会は11月と1月の、2回の会議が実際にお子さんに係る検討をする会議です。11月の会議で結論が出ず、1月の会議に継続審議されることもあります。会議のための資料を収集・整理するために数週間かかりますので、その前になるべく早く、ご相談ください。

県立養護学校（特別支援学校）をお考えの方は、県の会議にかける必要がありますので、9月中にご相談下さるようお願いいたします。

参考

県立武山養護学校（小学部）への就学までの流れ（就学支援委員会後）

・ 11月後半～12月 就学相談（お子さんも一緒に、就学を前提とした相談）

・ 1月 体験入学（入学後の生活についての説明会）

・ 2月 医師検診（入学事務説明会）

・ 3月 たんぼぼ教室との引継ぎ

その他

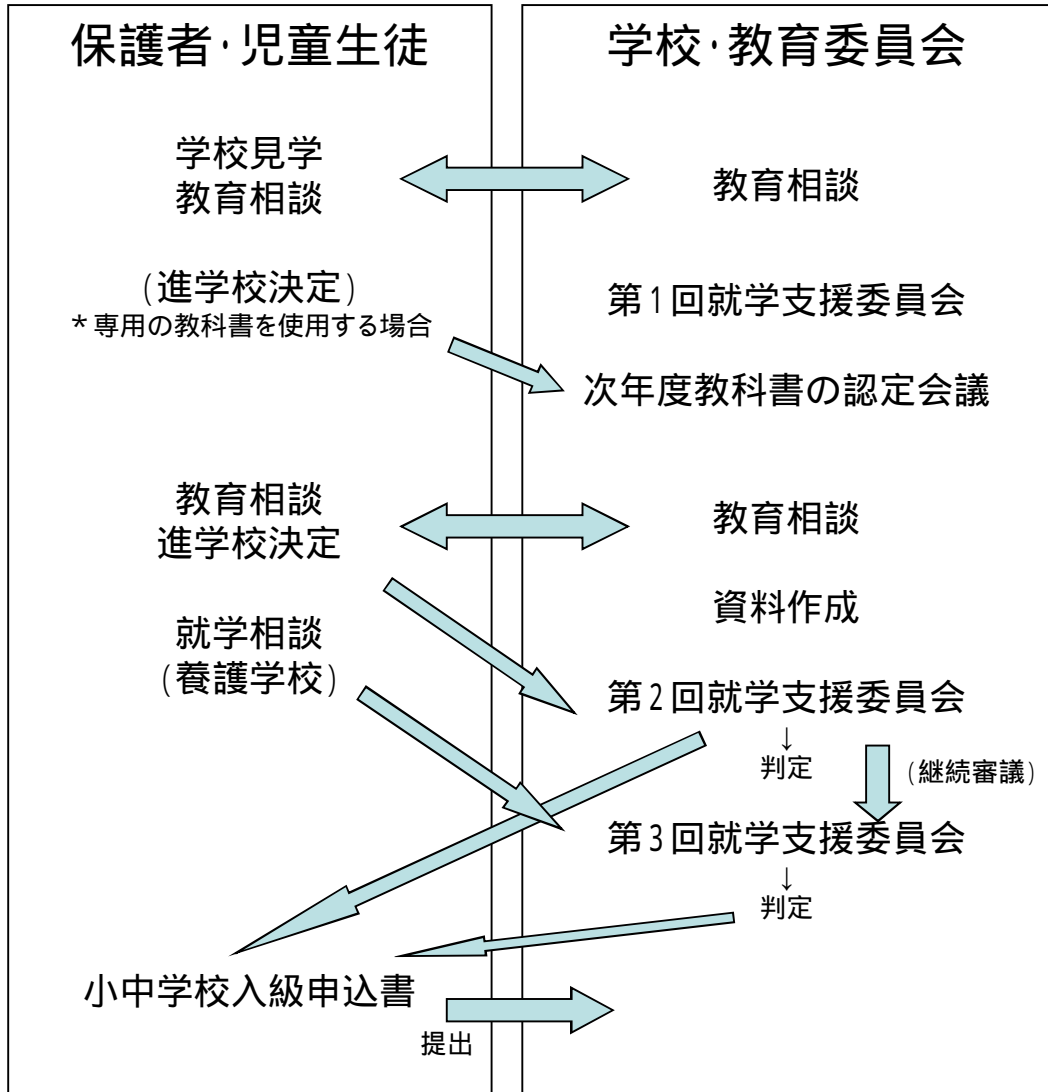
町で行う就学時健康診断受診についてのご不安がある場合も、ご相談ください。

支援学級および特別支援学校へ就学するまでの流れ

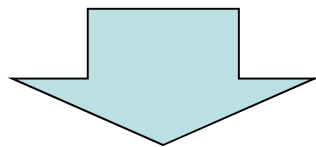
(概略)

就学予定
前年度

月



就学予定
年度



(就学支援委員会専門部会)
* 不定期・臨時の判定会議

入学

(注)月は大まかな目安です

(参考資料 3)

葉山町長 殿

葉山町教育委員会教育長 殿

平成 年 月 日

同意書

(ご本人の氏名) _____ の (相談項目) _____ に

関する支援のため、「葉山町相談支援ファイル」の記載の情報を関係者(機関)に提供したり、関係機関から収集したりすることに同意します。

ご本人の氏名 _____

ご本人の生年月日 _____ 年 月 日 _____

住所 _____ 葉山町 _____

電話番号 _____

保護者等の氏名 _____

対象者が未成年の場合は、保護者の方の署名もお願いします。

同意書は対象者の方又は保護者の方がコピーをし、支援ファイルに綴ってください。